

<介護職員等処遇改善加算算定に係る「見える化要件」について>



令和6年6月の介護報酬改定において、これまでの処遇改善のための加算が一本化され「介護職員等処遇改善加算」が創設されました。

加算要件の一つである職場環境等要件の当事業所における取り組みについて下記の通り公表いたします。

・処遇改善加算取得状況について

各事業所の介護職員等処遇改善加算（以下、新加算）の取得状況は以下の通りです。

（新加算Ⅰ）

メイプルリーフ榎島

（新加算Ⅱ）

グループホームメイプルリーフ・グループホームメイプルリーフ宇治・メイプルリーフ宇治・メイプルリーフ名木・メイプルリーフ金草原

・職場環境等要件について

当事業所は、職場環境要件24項目のうち以下の項目に取り組んでおります。

区分	環境要件内容	当事業所としての取り組み
入職促進に向けた取り組み	法人や事業所の経営理念やケア方針、その実現のための施策・仕組みなどの明確化	各事業所やユニット入口に会社理念・方針を掲示し、共有を図りその実現に向けて研修を実施している。
	事業者の共同による採用・人事ローテーション・研修のための制度構築	事業者の共同により、年度末に会議をし次年度の採用や人事・研修について検討している。
	職場体験の受け入れや地域行事への参加や主催等による職業魅力向上の取組の実施	職場体験の受け入れについて実績あり。地域の防災訓練やサロン等に積極的に参加している。
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対する喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するケアマネジメント研修の受講支援等	資格支援制度を導入し、受講料や研修費等の補助を行う等、職員が研修や講習を受けやすい環境を整えている。また、受講のための勤務調整や代替職員の確保に努めている。資格手当の支給によりモチベーションアップに繋がっている。

区分	環境要件内容	当事業所としての取り組み
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	研修の受講やキャリア段位制度と人事考課の連動	研修受講や資格取得等によるキャリア段位と人事考課を連動させている。
	上位者・担当者等によるキャリア面談など、キャリアアップ等に関する定期的な相談の機会の確保	事業本部による年2回の面談を実施し、キャリアアップに関する相談等に対応している。
両立支援・多様な働き方の推進	子育てや家族等の介護等と仕事の両立を目指す者のための休業制度等の充実、事業所内託児施設の整備	京都モデルワーク・ライフ・バランス認証企業。保育所開所時間に合わせた勤務時間調整やシフト上の配慮をしている。また子供連れ勤務を許可したり、行事への参加も可能にしている。介護休業取得実績あり。
	職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正社員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備	短時間正社員制度を導入している。多くの職員が希望により非正規職員から正規職員へ転換し活躍している。
	有給休暇が取得しやすい環境の整備	文書や口頭で有給休暇の取得を促している。
腰痛を含む心身の健康管理	短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業員のための休憩室の設置など健康管理対策の実施	短時間勤務労働者も対象の健康診断を年1回実施。夜勤者は年2回の健康診断を実施。週40時間勤務の職員には年1回ストレスチェックを実施。全館禁煙とし休憩室の確保にも取り組んでいる。
	事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等体制の整備	事故発生時のマニュアルを作成し研修を実施する等、緊急時に慌てず対応できるようにしている。また、緊急時の連絡方法についても周知徹底している。
生産性向上のための業務改善の取組	業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減	業務手順書（マニュアル）を作成している。記録の方法を、長文にならず分かりやすく簡潔にかけるように工夫している。
やりがい・働きがいの醸成	ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善	申し送りの徹底やユニット毎の会議により、業務内容やケア内容の改善に努めている。
	地域包括ケアの一員としてのモチベーション向上に資する、地域の児童・生徒や住民との交流の実施	中学生の職場体験の受け入れをしている。夏祭り等の行事に地域住民を招待したり、地域のサロンへ出向いたりしている。
	利用者本位のケア方針など介護保険や法人の理念等を定期的に学ぶ機会の提供	介護保険については常勤研修等で学ぶ機会がある。利用者本位のケアや事業所の理念・方針については会議の場等で何度も伝えている。
	ケアの好事例や、利用者やその家族からの謝意等の情報を共有する機会の提供。	事例発表をしたり、全国大会に参加する機会がある。謝意等の情報については、モチベーションアップにも繋がるため必ず直接職員に伝えるようにしている。